

# 地方 通信



## 北海道地方

### 北海道蘭越昆布間國道の改良

永年の懸案蘭越、昆布間國道改良は同地方の待望する處であつたが愈々近き内に測量に着手し着工の段取を定めたので地元南尻別村民は蘭越岩内間の拓殖道路の完遂に對し併せて其進捗に熱心努力して居る。

## 東北地方

### 青森縣の修路工夫表彰式

地方通信

道路愛護運動の躍進途上にある青森縣に於ては修路工夫表彰規程に基き修路工夫現員百三十八名の内平素業務に精勵し、其の成績特に優良なる修路工夫を嚴選し去る二月十一日紀元の佳節を卜して地方自治其他の功勞者及び優良者の表彰と共に之が表彰の式を舉行した。知事より表彰狀並に賞金を授與せられ、光榮に浴した修路工夫は全部で四十一名、之を出張所別にすると次の通りである。

△青森(二等二名、三等三名) △鯉ヶ澤(一等一名、二等一名、三等、三名) △弘前(二等一名、三等三名) △黒石(二等二名、三等三名) △五所川原(二等二名、三

等三名) △三本木(一等一名、二等二名、三等三名) △田名部(二等一名、三等三名) △八戸(一等一名、二等二名、三等四名)

尚當日は道路改良會より表彰せられた修路工夫中川原三之助(八戸) 小笠原末治(三本木) の兩名に對する表彰狀授與傳達式があり、道路の愛護、道路の改良等道路に關する觀念の普及に資する所が多かつた。

### 秋田縣道路祭に就て

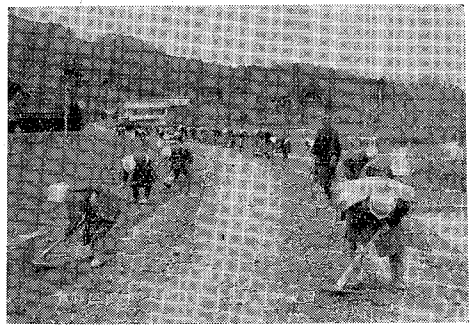
秋田縣に於ては從來各土木事務所毎に町村長會又は道路愛護會聯合會主催の下に道路祭を執行して道路工夫に感謝慰安の催をなすこと本誌既報の通りであるが能代土木事務所管内に於ては三月二十一日春季皇靈祭の佳日として山本郡道路愛護會聯合會の主催の下に土木課長、縣會議員、町村長並に土木請負業者の參列を得山本郡道路祭を催した。道路工夫全員十三名に感謝狀並

に金一封の授與又支那事變應召工夫二名に對しては慰問金の贈呈ありて盛會裡に終了引續き慰安の宴に移つた。これを以て本縣九土木事務所管内全部の道路祭を終了したのである。

### 山形縣道路共進會褒賞

#### 並道路工手表彰式

山形縣では昭和四年道路に關する公共心を涵養し道路愛護の思想を普及して其の機能を向上せしむる爲道路共進會規則を定めて其目的の徹底的遂行に努めつゝあるが本年三月二十三日開催道路工手を表彰した其の數三十五名にして勤務地氏名年齢勤続年數は左の通である其の内○印は本會の表彰狀を傳達したる工手である。



表彰道路工手氏名				並道路工手氏名			
勤務地	氏名	年齢	勤続年數	勤務地	氏名	年齢	勤続年數
米澤土木出張所	齋藤吉次郎	五〇	三〇	同	森谷九兵衛	五三	三〇
東谷清太郎				同	筒井 安次	四九	三五
				同	高梨 福治	四九	二四
				同	齋藤 武夫	四九	二二
				同	長井土木出張所		
				同	江川市四郎	四七	〇六
				同	渡邊 又市	三七	〇四
				同	庄司 久藏	四三	〇三
				同	神保 秋藏	四三	〇三
				同	鶴岡土木出張所		
				同	石川岩太郎	四三	〇三
				同	梅津 常吉	五〇	〇七
				同	鈴木 庭藏	四四	〇五
				同	阿部 元吉	三七	〇四
				同	沼澤 一	四九	〇六
				同	加藤 衆治	四三	〇七
				同	高橋 石藏	四三	〇七
				同	柿崎 榮吉	四八	〇三
				同	齋藤徳次郎	三七	〇五
				同	押野 兵藏	三六	〇五
				同	東海林富彌	四〇	〇三
				同	戸津 與作	四六	〇三
				同	橋岡土木出張所		
				同	横倉専五郎	四五	〇三
				同	眞木佐兵衛	四六	〇三
				同	板坂 忠藏	四六	〇三
				同	寒河江土木出張所		
				同	小野長作	六二	〇七
				同	近野 兵作	四〇	〇六
				同	豊田鐵之助	四三	〇六
				同	飯野 文吉	四六	〇四
				同	那須 十郎	四五	〇二

同	佐藤貞一郎	壘	二六
同	樋渡馬之助	壘	二六
同	酒田土木出張所	壘	二六
同	工藤堅太郎	壘	二五
同	丸藤 仁作	壘	二七
同	石山勝太郎	壘	二七
	以上三五名		

## 關東地方

### 神奈川縣下國道の難所に信號の設置

神奈川縣内京濱國道六郷川崎寄りの交叉は大師線舊國道線旭町線外二線の出會場所であるが、一日の交通量五萬といはれる頻繁さだがこの度二千圓を投じて三元次交通信號といふ最新式信號機が新設された、京濱國道開通以來雨の日風の日、交通調査が立詰めだつたのがこれからは赤、青の信號によつて國道隨一の難所も自由安全に交通整理が出来ることになつた譯だ。

地方通信

### 神奈川縣下千俣の溪谷にモタン橋

神奈川縣愛甲郡宮ヶ瀬村地内の中津川に架設せられた宮ヶ瀬橋は前後道路の新設と共に總工費三萬圓を要し縣下でも最初の大掛りなアーチ橋で延長四十二米・八〇、幅員五米拱長三十二米、拱天十三米、側徑間二個付き卵形式アーチ、一米突當り六百圓といふ莫大な工費、更に道路も斷崖に沿つて一米突當り三十圓を要す大岩盤掘鑿工事で一ヶ年振りに出来上つた難工事である。

## 東山地方

### 岐阜縣の道路大改修は名敦間

岐阜縣では近く道路の大改修に着手せんとしてをる此改修事業は名敦間路線中本會川橋から一宮市口までをトツプに名古屋、長野線のうち東春日井郡勝川町、知多半島

循環線、名古屋大濱線、西尾、蒲郡線、岡崎市、蒲郡線其他七十六ヶ所の道路改修と東春日井郡守山町の水分橋、西春日井郡山田町の平田橋、海部郡津島町の小津橋、幡豆郡西尾町の米津橋その他の橋梁十一ヶ所の大改修である。

### 岐阜縣下腐朽二十四橋の更生

岐阜縣では十二年度から五ヶ年計畫の下に總工費百一萬圓をもつて延長十五メートル以上の縣下の腐朽橋梁百十九橋を架替へることになり十二年度はまづ三十萬圓をもつて三十一橋の架替工事に着手したが引續き計畫第二年度の本年度は二十四萬圓をもつて二十四橋を架替へることに決定した。

## 近畿地方

### 兵庫縣道路共進會の成績

兵庫縣に道路の維持修繕の爲青年團學校

の態である。

## 中國地方

### 鳥取縣鳥取市の智頭橋

#### 竣工

鳥取縣鳥取市地内智頭川に架設中であつた智頭橋は久しく鳥取市民待望の的となつておつたが此程竣工したので三月二十一日盛大なる渡初式を舉行した。

### 鳥根縣道路愛護運動の

#### 実績

鳥根縣では道路の保全を目指し縣下各村に二百六十二の道路愛護團を結成、着々実績をあげつゝあるが、縣土木課の調査した十二年度中の成績は百八十一團體、延人員八萬九千二百五十六人、この作業延長數四百二十七萬三千七百七十二メートル特に優秀な團體に對しては五十圓以上七十二圓

普通十圓以上の獎勵金を交付したが五十圓以上の獎勵金を交付されたのは海士村、東須佐村、西須佐村、阿用村、海潮村、佐比賣村、六日市村の七團體である。

### 鳥根縣道路網の完成には

鳥根縣では大正九年の道路法施行と同時に幅員狭小なる箇所勾配または曲線不良なる箇所その他路面不良側溝不整箇所などを選定、局部改良に乗り出し初年度から大正十四年までの六ヶ年間は四萬圓乃至六萬圓程度でこれを實施したが、その後自動車の發達普及により改良工事も自然急速な擴大を必要とするにいたつたので、昭和元年以來九萬圓乃至十二萬圓の工事費によつて施行さらに八年度から十年間までは時局匡救事業として一躍二十五萬圓から三十七萬圓に増大し十九年間に約二百六十二萬圓を投じ今日では省營バス路線をはじめ全縣ほとんど自動車の通らないところなきまでの交

生徒其の他各種團體の奉仕に依る道路愛護運動としての企である。昭和十二年度の道路共進會はこれに参加した團體は四百二に上つたが縣當局はこれを審査した結果成績優良と認められる二百八十八團體に授賞することに決定した、すなはち一等は川邊郡六瀬村道路愛護會外十九△二等は西宮市東三青年團外三十九△三等は有馬郡貴志村道路愛護會外五十三△四等は多紀郡大芋村道路愛護會ほか六十四△五等は明石郡伊川谷那青年團ほか五十八等である。

小學校兒童で愛護作業に奉仕したものは川邊郡多田村小學校ほか四十九校の多きに上つてゐる、なほ全團體の作業延時間は實に二百九十萬四千八百七十二時間の多きに上りこれを一時八時間として換算すると三十六萬三千百九日を算し年度中毎日平均千人づつの團員が縣下の國道、府縣道乃至町村道の愛護作業に従事したわけが國民精神總動員の一つの現れとして當局も滿悅

通網を完備するにいたり、縣土木課ではこの改良の實績を土木資料第九編として輯録することになつた、各年度割工事費左のごとし(單位圓) 大正九年度五〇、〇〇〇△同十年度四〇、〇〇〇△同十一年度四〇、〇〇〇△同十二年度六〇、〇〇〇△同十三年度五〇、〇〇〇△同十四年度六〇、〇〇〇△昭和元年度九〇、〇〇〇△同二年度一一〇、〇〇〇△同三年度一〇〇、〇〇〇△同四年度一〇〇、〇〇〇△同五年度一〇二、〇〇〇△同六年度一〇七、〇〇〇△同七年度九〇、〇〇〇△同八年度(農村振興) 二五〇、〇〇〇△同九年度(同) 三二〇、〇〇〇△同十年度(農村應急) 一六三、九四〇△同十一年度(縣單獨) 一六〇、〇〇〇△同十二年度(縣單獨) 九〇、〇〇〇△同十三年度(同) 九〇、〇〇〇

## 四國地方

地方通信

### 愛媛縣下面河溪の觀光道路開通す

愛媛縣ではかねて松山から自動車で直通下面河溪谷探勝に便ならしむるため下面河觀光道路開設中のところ今同その入口「面河關門」まで二町を残り箇所まで全部開通を見たので地元上浮穴郡面河村では四月十五日その開通式を行ひ大いに下面河溪谷と石槌山の大宣傳を行ふことになつた。従來石槌登山には東嶽小松方面が表口、面河は裏口とされてゐたが右道路の開通により面河方面が表口となり探勝登山者が殺到するに至るであらう。

### 高知縣道路の完成と沿道地の躍進

高知縣では指定府縣道池川小田線中二大難所であつた池川町用居トウカイナシは昭和十一年に改修し見事な道路となりもう一つ池川町大西は土砂崩壊のため修理に年々

多額の費用を費しつゝも數十年を経過して來たが三月三十日美しく砂利を敷きつめた幅四米の縣道が見事に完成、これにより昭和八年度土豫國境に隧道が落成したものの、その後滿四年可惜蝙蝠の宿るに委せてあつたものがいよゝ利用される時に直面した觀があり町内の物資移出は勿論土豫を連ねる池川—小田線の將來性に一大曙光が見出された譯である。

### 高知縣の奥地に道路開鑿

高知縣土佐郡大川村大字北川部落は土豫の國境に接し土佐の西藏と稱せらるゝ交通不便の奥地であるが本川—本山線の開設に刺激せられて大北川森林土木組合員は敢然起つて大北川上流より本川—本山線に沿ひ幅員九尺の林道開通に着手昭和十二年六月より六千餘圓を投じ大北川部落新田神社から下流約十町に互り開鑿に着手施工中の處近く完成の見込である、躍進發展の大コーラス大北川林道完成の曉は大北川部落特産の楮三種木材等の重要物産は搬出され荷車、自轉車の往來を容易ならしめる日も近づいた。